

小中一貫ゆくのき学園（大戸小学校・武蔵岡中学校）について

小中一貫ゆくのき学園は、2008年度に大戸小学校・武蔵岡中学校の全学級が単学級となったことを契機として、少人数ならではの特長を活かし、児童・生徒にきめ細やかな9年間の継続的な指導を行うために、町田市初の合同校舎型小中一貫校である「小中一貫ゆくのき学園」（以下「ゆくのき学園」として2012年度に開校しました。

しかし、教育委員会が行った児童・生徒数推計では、町田市立学校の児童・生徒数が2040年度には2020年度と比べて約30%減少する見込みであることから、「まちだの新たな学校づくり審議会」（以下「審議会」）において、町田市立学校の統廃合を含めた通学区域の見直しを検討しています。

そのうち、ゆくのき学園の調査審議に際して、委員からゆくのき学園の総括が必要ではないかというご意見があったことから、ゆくのき学園の現状と今後のあり方について説明します。

1 小中一貫ゆくのき学園の主な特長

(1) 小・中教員による相互乗り入れ授業の実施

小・中学校それぞれの教員がお互いの授業に参加する連携授業を日常的に行うことで、きめ細やかな指導や専門性を生かした指導を行っています。

(2) 小学校5年生からの中学校部活動への参加

小学校5年生からの中学校部活動へ参加し、小学校から専門的な活動を行うことができます。

(3) 合同運動会をはじめとする各種合同行事

合同運動会や児童会と生徒会が協力して全校児童生徒が参加するレクリエーションを企画するなど、小学生と中学生による合同行事を実施しています。

(4) 地域や近隣の大学との連携による多様な教育活動

地域、学生と連携・協力して、中学校の放課後自主学習の場である「学びの場」と「補充学習」や小学校生の放課後学習教室「ゆくのき塾」、体験学習などを実施しています。

2 児童・生徒数の推移

区分	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
大戸小学校	124	143	153	157	167	151	144	136	131
前年比		▲19	▲10	▲4	▲10	▲16	▲7	▲8	▲5
武蔵岡中学校	87	80	83	74	81	84	85	81	74
前年比		▲7	▲3	▲9	▲7	▲3	▲1	▲4	▲7

3 児童・生徒の就学の状況（2020年度）

(1) 大戸小学校・相原小学校

区分	大戸小学校			相原小学校		
	①2020年5月1日児童数		131人	①2020年5月1日児童数		409人
	②指定校変更前人数（児童数-入+出）		133人	②指定校変更前人数（児童数-入+出）		407人
	③=①-②		-2人	③=①-②		2人
	入	理由	出	入	理由	出
小規模特認	19人	—	0人	0人	—	19人
通学区域緩和制度	0人	—	12人	12人	・友人関係 5人 ・その他 7人	0人
指定校変更	1人	・途中転居 1人	10人	10人	・途中転居 2人 ・兄弟関係 6人 ・教育的配慮 2人	1人
合計	20人	—	22人	22人	—	20人

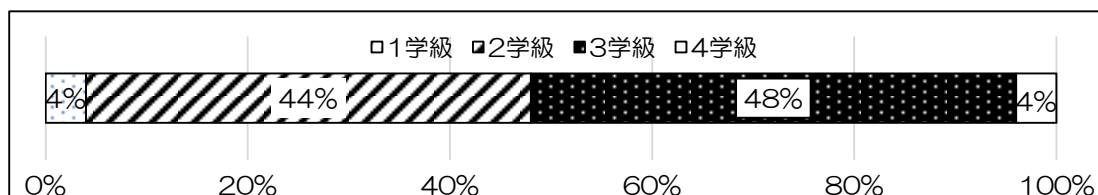
(2) 武蔵岡中学校・堺中学校

区分	武蔵岡中学校			堺中学校		
	①2020年5月1日生徒数	74人	①2020年5月1日生徒数	569人		
	②指定校変更前人数(生徒数-入+出)	117人	②指定校変更前人数(生徒数-入+出)	526人		
	③=①-②	-43人	③=①-②	43人		
	入	出	入	出		
	理由	理由	理由	理由		
小規模特認	9人	—	0人	0人	—	9人
通学区域緩和制度	0人	—	6人	6人	・友人関係 3人 ・部活 3人	0人
指定校変更	0人	—	46人	46人	・兄弟関係 1人 ・小中継続 6人 ・特認地区 39人	0人
合計	9人	—	52人	52人	—	9人

4 町田市立学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査結果(2019年度)

(1) 1学年あたりの望ましい学級数とその理由(大戸小学校) ※保護者

回答があった保護者のうち、複数学級(2学級以上)が望ましいとのご意見が96%でした。

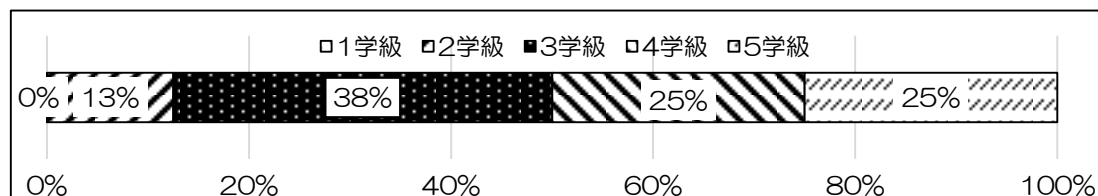


望ましい学級数	理由
2学級	1クラスだと9年間一緒に、いじめられた時のにげみちがなくなる。 クラス替えが出来る為 クラス替えが必要だと思う。友達関係は固定になっていく。 少子化により学級数が減るのは仕方ないが、2学級はないと、クラス替えなど、人間関係で固定化されてしまう。
3学級	いじめがあった場合、少ないクラス内では、逃げ道がない。高校進学時に、小人数のクラスでは、ギャップを感じる。 クラス替えがないと刺激が少なく、考えが固定されやすい。 クラス替え等、交流が図れる。 少なすぎても多すぎても良くないかと思う。

※理由は、自由記述で回答があった内容のみ記載

(2) 1学年あたりの望ましい学級数とその理由(武蔵岡中学校) ※保護者

回答があった保護者のうち、複数学級(2学級以上)が望ましいとのご意見が100%でした。



望ましい学級数	理由
3学級	友達の幅が増える。
4学級	少なすぎず先生の目がとどく数

※理由は、自由記述で回答があった内容のみ記載

5 まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査（2020年度）

■ゆくのき学園の評価に関する保護者からのご意見 ※個人が特定される内容は編集しています。

（教育活動への評価）

小中一貫校に通学させていて、メリット・デメリットはあります。先生方が、よく子ども達を見ていてくれるなと感じます。

又、子ども達も上の学年は下の学年を下の学年は上の学年のお手本になり、憧れになったりと成長する過程で、大切な事を学んでいると感じています。素敵な学校をなくさないで欲しいです。

（小規模校に対する評価）

子どもが大戸小・武蔵岡中に行きました。小1～中3まで1クラスです。転入校生以外は、ずっと同じメンバーで、運動会はクラス単位で紅白に分けられず、クラスを半分に分けました。

中学では、サッカー・野球等の部活が出来ず可哀想な思いをしました。人間関係につまずいている子は、何年もずっと我慢していました。もっと早く統廃合して欲しかったです。

ゆくのき学園なんて作りましたが、その時に統廃合して欲しかったです。残念でなりません。ゆくのき学園を作った人達の先見の明の無さすぎにあきれます。ゆくのきにした事により、部活等が出来なかった子達が沢山いた事を知ってください。

大人がのんびり考えているうちに、子供はどんどん大きくなります。1年でも早く統合出来る様に急いであげてください。宜しくお願いします。キツイ言い方になり、申し訳ありません。

6 小中一貫ゆくのき学園のあり方について

小・中教員による相互乗り入れ授業による少人数指導や、小学校5年生からの部活動参加、小中合同行事といった小中一貫校の特長を活かした教育活動が評価されています。

しかし、2020年度の就学の状況において、特に武蔵岡中学校区から堺中学校区へ約44%（117人中52人）が指定校変更をしています。そこには、子どもたちの人間関係から見たデメリットや希望する部活動を選ぶことができないといった小規模校のデメリット（課題）が影響を与えており、他の町田市立学校と同様に「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づいて、学校統廃合の議論を進めていく必要があります。